

第3回岩手県広域サイクリングルート検討会議 議事概要

1 日時

令和5年9月25日（月） 14時～16時

2 場所

岩手県公会堂 2階 26号室

3 出席者

別添出席者名簿のとおり

4 議事

(1)広域サイクリングルート案について

(2)広域サイクリングルートの検討スケジュールについて

5 配布資料

- ・次第
- ・出席者名簿
- ・配席図
- ・岩手県広域サイクリングルート検討会議設置要綱

【資料1】 広域サイクリングルート案について

【資料2】 広域サイクリングルートの検討スケジュールについて

6 会議結果

○議事

(1) 広域サイクリングルート案について

- ・ 事務局から資料1について説明。

<意見等> ※ 「⇒」：事務局回答

(岩手県サイクリング協会 盛合事務局長)

- ・ 田野畑村切牛地区は、越波による通行規制のリスクがあるが問題ないか。また、本州最東端に位置する宮古市重茂地区の鮎ヶ崎を經由してはどうか。
⇒ 今後の検討の参考としたい。

(岩手医科大学教養教育センター ホップス教授)

- ・ 北山崎付近は、道路幅が狭く勾配もきついが、三陸海岸の絶景を楽しむことができるため、魅力的なルートである。サイクリストは自転車と海の絶景を写した写真が欲しい。一方、国道45号は、トンネルが多く自動車の走行速度も高いため危険である。
- ・ 早坂峠の国道455号の早坂トンネルは、延長が長いものの、直線で路肩が広く、照度や舗装状態も問題ないため走りやすい。一方で旧道は、休憩施設に寄り道をしてグルメを楽しむのも良い。国道455号、旧道どちらのルートでも良いと思う。
⇒ 早坂峠については、国道455号の旧道を通させている。理由は、ルート上に、休憩施設である「いわてサイクルステーション」が存在すること、早坂トンネルの延長が約3kmと長く、回避する必要があることを理由に設定した。頂いた意見をふまえ、今後の検討の参考としたい。

(岩手県商工会連合会 内金崎内金崎自転車商会代表)

- ・ ルート案は、中～上級者向きのルートが多いと思うため、上級者のサイクリストにアンケートを取ってはどうか。サイクリングルートを設定する目的がより明確になるとともに、利用者とのミスマッチも回避できると思う。ルートに関して意見を募集し、抽選で豪華景品をプレゼントする等、イベント性を持たせた企画もよいのではないか。新聞やYouTuberとコラボして情報発信するのも面白い。
⇒ 今後の検討の参考としたい。

(岩手県立大学総合政策学部 宇佐美准教授)

- ・ パブリックコメントは形式的な実施となる場合も多いので、利用者から直に意見を伺う機会があってもよいと思う。
⇒ 今後の検討の参考としたい。

(岩手県商工会連合会 内金崎内金崎自転車商会代表)

- ・ 青森県八戸市から福島県相馬市をつなぐ「みちのく潮風トレイル」では、ハイキングパスポートに各地域で用意されたスタンプを押しながらコースを巡るといった楽しみ方がある。参考にしてはどうか。
⇒ 今後の検討の参考としたい。

(岩手県立大学総合政策学部 宇佐美准教授)

- ・ イベントはルート公表時に合わせて実施する等、タイミングも重要である。
- ⇒ 今後の検討の参考としたい。

(岩手県サイクリング協会 盛合事務局長)

- ・ ルート設定にあたり、立ち寄りポイントをどのように案内するのか。基幹ルートから距離がある場合は、サイクリストが辿り着けないことも想定される。
- ⇒ 基幹ルートから外れた立ち寄りポイントは、路面表示や案内看板により案内する。距離が離れている場合は、地域ルートを活用することも考えられる。

(岩手県サイクリング協会 盛合事務局長)

- ・ 地域ルートを設定している市町村は少ないと思う。
- ⇒ 市町村によっては、地域ルートを設定したいという意向も聞いているため、県側から働きかけていくとともに、地元市町村と連携してルートを設定したい。

(公益財団法人岩手県観光協会 田丸専務理事兼事務局長)

- ・ 県内外問わず多くのサイクリストに来訪頂くには、県外の方々や全国規模の事業者・団体に意見を伺うのも重要だと思う。例えば、葛巻町は、アウトドアスポーツメーカーの株式会社シマノと連携してサイクリングルートを設定したと伺っている。リサーチしてみてはどうか。
- ⇒ 今後の検討の参考としたい。

(岩手県商工会連合会 内金崎内金崎自転車商会代表)

- ・ 先日、一般社団法人散走ネットワークの勉強会に参加したのだが、非常に勉強になった。特に、地域ルートに関してよい意見を頂けると思うので相談してはどうか。相談が必要な際には、是非声掛けして欲しい。
- ⇒ 今後の検討の参考としたい。

(公益社団法人岩手県バス協会 菅原専務理事)

- ・ ルートを整備した後、利用者にどのように周知していくのか。地域振興の観点からも、一過性の取り組みで終わるのではなく、継続的に県内外からサイクリストを呼び込むことが重要だと思う。
- ⇒ 現時点では勉強している段階ではあるが、全国的な自転車ポータルサイトの活用や連携等、様々な広報の方法を検討したいと考えている。

(岩手医科大学教養教育センター ホップス教授)

- ・ 利用者にルートの標高データも提供するのか。サイクリストが走行ルートを決める際に参考とする情報の1つであるため、是非マップ等に掲載してほしい。
- ⇒ 今後の検討の参考としたい。

(岩手県立大学総合政策学部 宇佐美准教授)

- ・ 経路情報や立ち寄りスポットが地図上で簡単に確認できれば、利便性や訴求力の向上にも繋がると思う。
⇒ 今後の検討の参考としたい。

(国土交通省東北地方整備局南三陸沿岸国道事務所 岩渕副所長)

- ・ 参考情報として、今年の9月16日～17日に、宮城県にて「ツール・ド・東北 2023」が開催された。沿岸地域の観光地を巡りながら、グルメを堪能したり地域の人々と交流したりして楽しむサイクリストの姿が非常に印象的だった。岩手県で設定する広域サイクリングルートもそのような魅力あるものになればと思うので参考にしてみてもどうか。
⇒ 今後の検討の参考としたい。

(東日本旅客鉄道株式会社：横山経営戦略ユニットマネージャー)

- ・ 整備マニュアル（案）の検討に関して、現時点でゲートウェイに必要な機能や要件は決まっているのか。
⇒ 現時点では決まっていない。今後、国のガイドラインや他県の事例等を参考に検討していく。

(東日本旅客鉄道株式会社：横山経営戦略ユニットマネージャー)

- ・ 説明の中で「～駅周辺」という表現をされていたが、駅単独ではなく、駅周辺の施設も活用していくイメージか。
⇒ そのとおりである。関係機関と打合せするなかで、駅単独でのゲートウェイ機能を満たすことは難しいため、現時点では駅周辺の施設も活用しながら、柔軟に整備できるよう基準を検討していきたい。

(岩手県サイクリング協会 盛合事務局長)

- ・ ゲートウェイの管理者の選定も重要である。また、サイクリングの準備や片付けを行う拠点施設となるため、更衣室は必須である。
⇒ 今後の検討の参考としたい。

(岩手県立大学総合政策学部 宇佐美准教授)

- ・ 【資料1】1-18頁に路面表示や案内看板の事例があるが、表示されている文字を自転車で行きながら読むには小さいと思う。

(岩手県サイクリング協会 盛合事務局長)

- ・ 海外では、ロゴマークと矢印でルートの進行方向等を表現することが主流である。直感的に理解できるよう工夫することが重要だと思う。

(岩手県立大学総合政策学部 宇佐美准教授)

- ・ 同じく海外の事例だが、主要な交差点はナンバリングされており、サイクリングマップとも対応していた。そのため、利用者が容易に現在地を把握できると感じた。

⇒ 今後の検討の参考としたい。

(2) 広域サイクリングルートの検討スケジュールについて

- ・ 事務局から資料2について説明。

<意見等> ※ 「⇒」：事務局回答

(岩手県商工会連合会 及川総括主幹)

- ・ 令和6年度よりルート整備に着手することだが、サイクリストが実際に走行できるようになるのはいつ頃か。
- ⇒ 国の自転車活用推進計画の計画期間を参考に、令和7年度中の整備を目標としている。ただし、計画延長が長いので、まずは必要最低限の整備を行う等、段階的な整備も想定している。

(岩手県商工会連合会 及川総括主幹)

- ・ 来年度以降、整備に合わせて広報等も検討していければよいと思う。

(岩手県立大学総合政策学部 宇佐美准教授)

- ・ ルート設定を進めるにあたり、サイクリストからの意見は勿論、地域住民からの意見も広く集めることができればと思う。イベント等の企画も含め、地域や関係者を巻き込んで進めていきたい。

○その他

- ・ 特に無し。